

「ロス暴動」20周年記念上映会

在米コリアンが製作した渾身のドキュメンタリー映画

ロス暴動の真実

—コリアタウンはなぜ襲われたか—

1992年4月、米国ロサンゼルスで「ロス暴動」が発生した。当時、「黒人がコリアタウンを襲撃した」という報道が世界中を駆け巡った。だがメディアが伝えた「事実」は事件の「真実」を歪曲していた……。

その時**黒人**は、**コリアン**は、**ロス市警**は、**メディア**は何をし、何をしなかったのか？ 衝撃的な映像と多様な人々の証言により、いま事件の真実が明らかに！

【ロス暴動とは】



1991年3月、黒人のロドニー・キング青年が車のスピード違反を犯したとき、白人警官たちに警棒で激しく殴打された。その映像が全米で放映され、黒人の怒りが高まった。翌1992年4月29日、裁判で陪審員が白人警官に対し無罪評決を下した。その直後からサウスセントラルで暴動が発生し、全米各地にまで拡大した。4月30日、暴動は隣接地域のコリアタウンに襲いかかった。韓国人は自衛のために闘ったが、甚大な人的・経済的被害を被った。

ロス暴動は死者55人、財産被害7億500万ドル(約930億円)という史上最大の被害をもたらし、その内韓国人の被害は2200余件、3億4500万ドル(約430億円)に達した。

上映時間 75分(英語版・日本語字幕)

主催 「ロス暴動の真実」上映委員会

問い合わせ先 「サンボン・ネット」http://blog.livedoor.jp/ko_chanyu/

TEL (06) 6712-1669 メール kochanyu@hotmail.com

米国ロサンゼルスには世界最大の 코리아タウンがある。1992年4月29日、黒人集住地域のサウスセントラルでロス暴動が発生し、あろうことか 코리아タウンにまで飛び火した。荒れ狂う暴徒、略奪、放火、銃撃戦、泣き叫ぶ女性……当時、刻々と伝えられた衝撃的映像に世界が驚愕した。だが、前年に彼の地を訪問した私は、「黒人が 코리아タウンを襲撃した」という報道に強い違和感を覚え、同年9月に渡米した。そしてロサンゼルスとニューヨークで取材を行った結果、ロス暴動報道が極度に真相を歪曲していたことを確信し、「真実を伝えて欲しい」と訴えた被害者の想いを伝えるために『アメリカ 코리아タウン』（社会評論社）を上梓したのだった。私は昨年、19年振りに 코리아タウンを訪れた。その際、思いがけないことに、在米韓国人がロス暴動の真相を克明に描いたドキュメンタリー映画を入手することができた。当時の生々しい映像と、事件に深く関わったコリアン、黒人、白人たちが語る秘話によって構成された必見の秀作である。同時に、人種、差別、多文化共生といった今日的なテーマをも考えさせる要素に満ちている。



ロス暴動20周年にあたる今年、ぜひ上映活動に御協力をよろしくお願いいたします。

2012年1月 高賛侑（ノンフィクション作家）



『アメリカ・ 코리아タウン』電子出版記念 講演会 & 上映会

■日時 2012年4月11日（水） 開場 18:00 開演 18:30

■会場 神戸学生青年センターホール TEL 078-851-2760

（阪急六甲下車徒歩3分、JR六甲道下車徒歩10分）

■参加費 1,000円

■講師 高賛侑（コウ・チャニユウ。ノンフィクション作家）

■主催 神戸学生青年センター 神戸市灘区山田町3-1-1 <http://ksyc.jp/>